

ユーザーマニュアル

インターMブレーキ



目次

重要なお知らせ	3
安全のために必ずお守りください.....	4
使用上の注意	6
乗車前の日常点検項目	7
各部の名称.....	8

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整、交換などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方むけのディーラーマニュアルはウェブサイト(<https://si.shimano.com>)で公開しています。

安全のため、必ずこのユーザーマニュアルをよくお読みの上、正しく使用し、いつでも確認できる状態にしておいてください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危 険	「死亡や重傷を負う内容」です。
	警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注 意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警 告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあるため、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を十分理解し慣れるようにする。ブレーキ系統の操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒や衝突により重傷を負うおそれがあります。
- 製品の分解、改造はおこなわない。動作不良をおこし、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。
- シマノフロントインターMブレーキのブレーキ本体とハブ本体はセットでの使用が必要です（BR-C6050-F、BR-C6051-F、BR-C6060-FおよびBR-C6061-Fを除く）。シマノフロントインターMブレーキのハブ本体にはパワーモジュレーターが内蔵されています。この装置はある一定以上のブレーキ力に達すると、それ以上のブレーキ力が出ないように制御するものです。ハブ本体がモジュレーター付きでない場合、または、パワーモジュレーター付きのハブ本体やブレーキを使用している場合、総質量が推奨質量に満たない場合、前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負うおそれがあります。なお、パワーモジュレーターが働くときに作動音が発生しますが、異常ではありません。
- BR-C6050-F / BR-C6051-F / BR-C6060-F / BR-C6061-Fパワーモジュレーターの許容総質量（自転車+乗員+荷物）範囲

モデル名	タイヤ外径（mm）	許容総質量範囲（kg）
BR-C6050-F / BR-C6051-F	660 - 712	70 - 100
BR-C6060-F / BR-C6061-F	660 - 712	100 - 130

- 許容総質量範囲内で使用する。総質量が許容範囲外の場合、制御されたブレーキ力が、高すぎたり、低すぎたりするおそれがあります。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップしやすくなるのでスピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をする。タイヤがスリップすると転倒して重傷を負うおそれがあります。

⚠ 注 意

- 長い下り坂でブレーキを連続してかけ続けない。シマノインターMブレーキシステムの場合、ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなり音が鳴ったり、またはブレーキの効きが急に強くなったりするなどの異常が発生する場合があります。
- 使用中、次のことが発生した場合には、即刻使用を中止し、販売店で点検・修理をしてください。

(1) ブレーキをかけたとき、音鳴りがした場合

(2) ブレーキの効きが異常に強すぎる場合

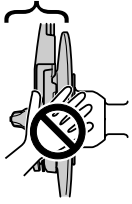
(3) ブレーキの効きが異常に弱すぎる場合

(1) と (2) が発生した場合は、ブレーキグリスの不足が考えられますので、販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。

BR-C6050-F、BR-C6051-F、BR-C6060-FまたはBR-C6061-F使用時に、(2) と (3) が発生した場合は、パワーモジュレーターの作動不良も考えられますので、販売店で点検・修理をしてください。

- 走行後しばらく（30分位）は、ブレーキ部周辺に手をふれない。ブレーキを頻繁に使用した場合、ブレーキ周辺が高温になる場合があります。

ブレーキ部周辺



- ブレーキケーブルが錆びていないか確認する。ブレーキケーブルが錆びると、ブレーキの効きが悪くなります。効きが悪くなったときは、新しいシマノ純正ブレーキケーブルと交換し、再度ブレーキの効きを確認してください。
- フロントブレーキユニットおよびフロントハブユニットは分解しない。分解するとトラブルや故障の原因になります。

使用上の注意

- フロントインターMブレーキは、停車時にブレーキを強くかけた状態で、車輪を前後に揺ると、構造上、ブレーキ部に若干の遊びがありますが、異常ではありません。また、走行にも全く支障はありません。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を発揮するために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品の使用を強くお勧めします。

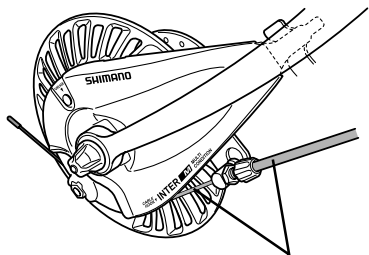
乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- 前後のブレーキは正しく作動しますか。
- ふだんと異なる音はしませんか。
- ブレーキの効きが異常に強すぎませんか。
- ブレーキの効きが異常に弱すぎませんか。
- ブレーキケーブルに錆はありませんか。

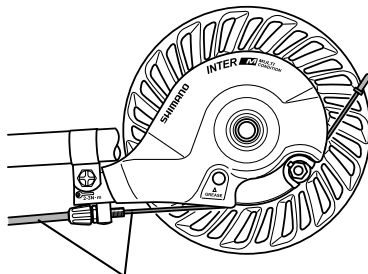
各部の名称

フロント



ブレーキケーブル

リア



ブレーキケーブル



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0120-495-440

Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地